

みずほの通り（市道5340号線）の開通について

1 事業の目的

国道408号と地域高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部に位置付けられる鬼怒テクノ通りを連絡し、広域的な都市間連携や交流促進の軸である鬼怒テクノ通りとの連続性確保による都市間交通の円滑化を図る。

2 事業概要

- (1) 事業着手：平成14年度
- (2) 延長：1,735m（国道408号～鬼怒テクノ通りまでの区間）
- (3) 計画幅員：25.0m（車道4車線，両側歩道）
（暫定2車線幅員：11.0m（車道2車線，片側歩道））
- (4) 構造物等：橋梁2基，ボックスカルバート5箇所，高盛土L=160.0m
- (5) 全体事業費：約54.8億円

3 事業経過

- ・平成14年度より事業に着手
平成14年度 地元事業説明会
平成16年度～ 用地取得
平成19年度～ 工事着手
- ・事業地内の貴重な自然環境を保全するため，環境影響調査による事前調査や対策の検討，工事着手後には埋蔵文化財調査を工事に合わせて実施したことにより，開通までに時間を要した。
- ・事業効果の早期発現を図るため，今回，暫定2車線での開通を進めており，令和6年度に4車線が開通する予定である。

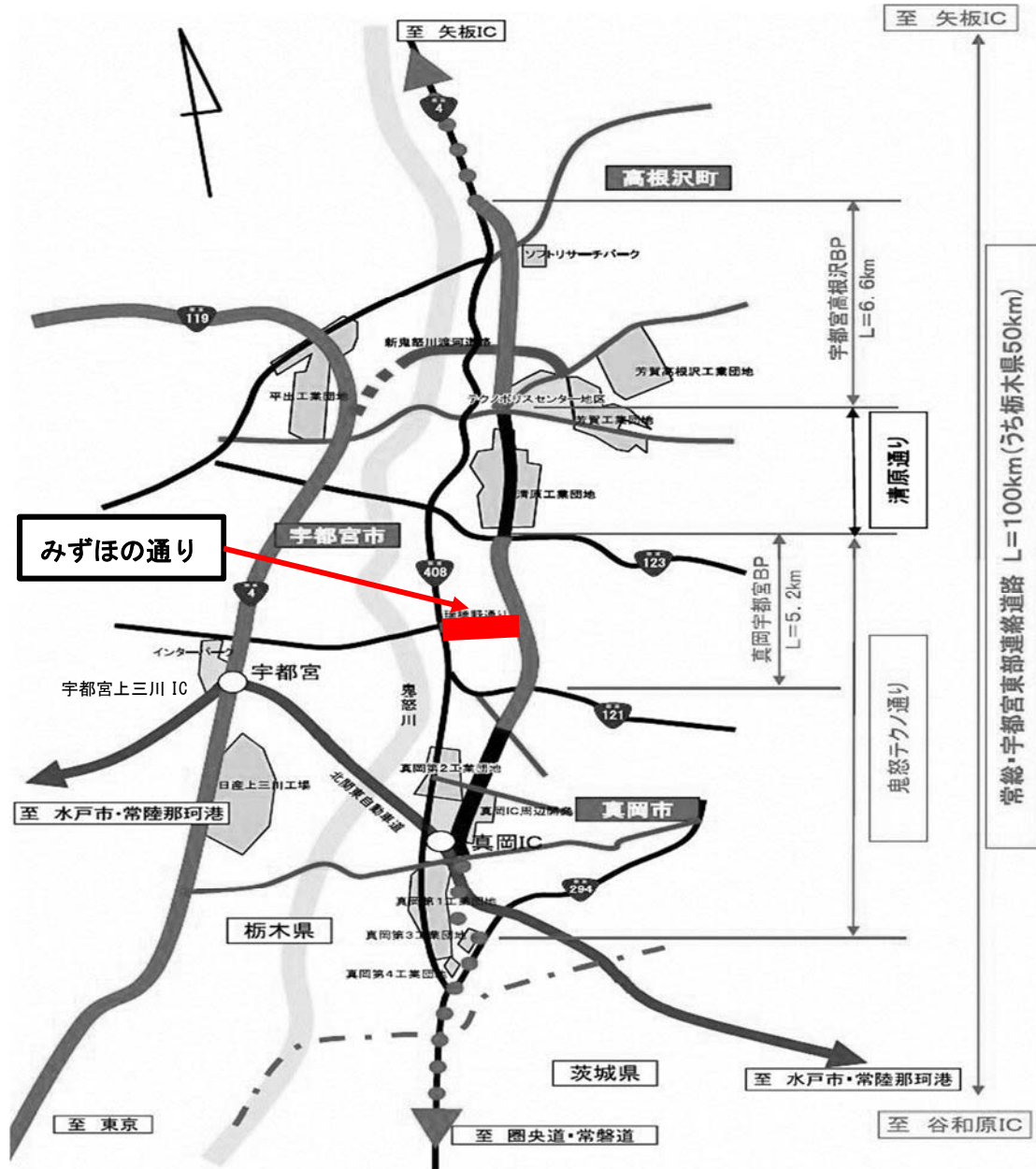
4 事業効果

- ・鬼怒テクノ通りとの連続性確保により，都市間交通の円滑化や，本市産業拠点地区へのアクセス強化が図られる。
- ・国道123号など東西方向の交通が，みずほの通りに転換されることや，みずほの通りと鬼怒テクノ通りとの連続性確保により，国道408号の交通が鬼怒テクノ通りへ転換されることで，交通の円滑化が図られる。
- ・清原工業団地から，宇都宮上三川ICへのアクセス路として，鬼怒テクノ通りを経由した新たなルートが形成され，所要時間短縮が見込まれることから，清原工業団地関連の物流効率化が期待される。

【上籠谷交差点と鬼怒テクノ通りへの接続による所要時間の短縮効果】

- ・清原球場，グリーンスタジアムまで：12分→8分（約4分短縮）
- ・井頭公園（1万人プール）まで：10分→4分（約6分短縮）

5 位置図



みずほの通りの開通に伴い、国道408号と広域的な都市間連携や交流促進の軸である鬼怒テクノ通りとを連絡し、都市間交通の円滑化を図る。

6 その他

- ・ 令和3年3月上旬頃に工事完了予定
- ⇒ 令和3年3月末に開通予定
 - ・ 開通に合わせ、開通式典を開催予定（日程は未定）
 - ・ 開通に先立ち、事業概要や事業効果等をPRするパンフレットを、令和2年11月より本庁や各地区市民センター、ベルモール内のオープンスクエア等で配布予定